

世界遺産候補地を巡る

《コース》 飛鳥駅前⇒岩屋山古墳⇒牽牛子塚古墳・越塚御門古墳 ⇒猛暑のため急遽行程を短縮し飛鳥歴史公園館へ
(昼食) ⇒ セミナールームでイベント「世界遺産巡り」について活動打ち合わせ、活動コースの検討。

日本書紀資料解説、その他。

担当： 18期 公門、佐藤、西村、藤本 (敬称略)



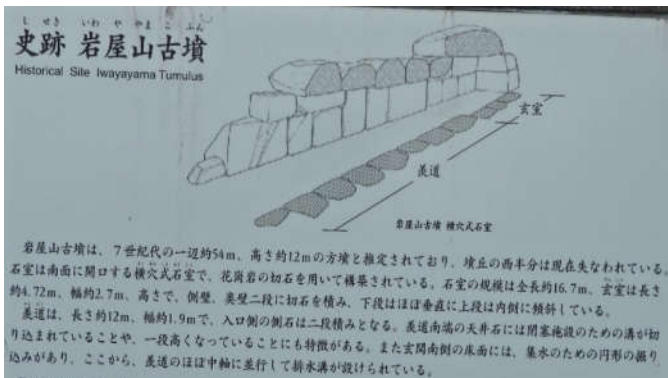
飛鳥駅前点呼



コースの説明



飛鳥駅から岩屋山古墳へ



岩屋山古墳



岩屋山古墳



羨道



玄室



牽牛子塚古墳方面へ向う途中道標



牽牛子塚古墳方面へ



牽牛子塚古墳方面へ向う途中に御地蔵様



牽牛子塚古墳方面へ



牽牛子塚古墳方面へ向う途中ガマ群生



牽牛子塚古墳



牽牛子塚古墳



牽牛子塚古墳



越塚御門古墳





牽牛子塚古墳



牽牛子塚古墳の埋葬施設



牽牛子塚古墳



牽牛子塚古墳



牽牛子塚古墳



牽牛子塚古墳



公園館へ向う道に花



公園館へ向う



セミナールームでイベントについて活動打ち合わせ

岩屋山古墳

墳丘は、一辺約40m、高さ約12mの二段築成の方墳を版築で築いています。

埋葬施設は、綺麗に表面加工された石英閃緑岩(飛鳥石)を精緻に組み上げた両袖式横穴式石室で南に開く。一説によると、一辺45m程度の上八角下方墳と考え、三段築成とする説もあり。

石室規模は、全長17.78m、玄室長4.86m、幅約2.8m、高さ約3mで、羨道長約13m、幅約2.3m、高さ約2m

牽牛子塚古墳

墳丘は、版築で築かれた対辺約22m、高さ4.5m以上の八角形を成している。墳丘裾部には

二上山産凝灰岩の切石を並べ置いた犬走状の石敷きがあり、更にその外側に川原石を敷き詰めた二重のバラス敷きが造られており、このバラス敷きまで含めると対辺長は約32m。

墳丘は、三段に築成、凝灰岩の切石やその破片が数百個以上出土していることから、これらの切石はピラミッド状に積み上げられて墳丘斜面を飾っていたと考えられる。

その総数は約7,200個におよぶと推定

